

うちゅうせん新聞

広報係 2013年12月14日発行 2号

☆ 天文ボランティア会報 ☆

“例会”より

[7月27日\(土\)14:00~16:00](#) 出席者10名

場所: 仙台市天文台 学習室

8月の観望会予定と参加者の把握、天文台との連携協力について具体的な活動の検討を行いました。

また、当日発行の会報で紹介した記念切手「星座シリーズ3」の実物を見ながら、日本人で初めてチョコレートを食べたのが支倉常長!? 等の話題で盛り上がりました。

[8月24日\(土\)14:00~16:00](#) 出席者11名

9月からの観望会: えぼしスキー場・川崎町(蔵王自然の家)・矢本西小学校・青葉中央市民センターの参加者を募りました。

<やっぱり事!>うちゅうせんメーリングリストを携帯で受信している方もいます。メールのうしろは削除して、送信しましょう。…(引用返信はしない)

[9月28日\(土\) 14:00~16:00](#) 出席者5名

今回は、東京オリンピックが思い出深い1名と良く知らない4名の和気あいあい例会でした。

10月の観望会は初依頼?のspringバレー泉高原があります。F氏のブログには、かわゆい猫ちゃんが載っています。(キーワードは盛岡)

[10月19日\(土\) 14:00~15:30](#) 出席者7名

11月の観望会参加確認と台風等の悪天候の影響で中止が多かったえぼしスキー場での観望会を含めてこの秋をふり返りました。

今年は一五夜と満月が一致し、晴天に恵まれ良い月見ができました。さらに今月の、一三夜も晴れて月見には恵まれた年でした。

[11月23日\(土\) 14:00~15:30](#) 出席者6名

船長欠席の為、議事録なしで静かな例会?となりました。12月唯一な観望会、榴ヶ岡市民センターと忘年会の話題。また、楽天の試合を見に行きテレビに写り、上司に怒られた人あり。(ぬれぎぬらしい)

今年は大雨や台風の当たり年で、8月以降毎月のように警報が発令され、鉄道の運休や学校の休校などが事前に通知され混乱する大変な秋でした。「えぼし」をはじめ観望会も影響を受けました。

観望会より

[川崎小学校観望会 7月19日\(金\) 20:00~21:00](#)

(うちゅうせん5名、参加者親子60名) 曇天

昼間は日差しもあったのですが、夕暮れには厚い雲に覆われ曇天バージョンで行いました。6学年PTA行事、学校でキャンプの中のプログラムで参加してきました。

はじめに、今日の星空、天文クイズ、星座物語「オリオンとサソリ」そして最後に星座ビンゴゲームの内容で行いました。時間が1時間であったので、参加賞の写真は別に渡してもらうことにしました。川崎小6年PTA行事に参加して4回目になりますが、1勝(晴れ)3敗(曇天)の結果です。次回は晴れるといいですね。学校キャンプの次のプログラムが始まり、校舎に響く悲鳴声(肝試し)を聞きながら、帰路につきました。

[東仙台小学校観望会 7月20日\(土\) 19:00~20:00](#)

(うちゅうせん5名、参加者親子130名) 晴天

夕方は西の方に雲がありましたが、月は何とか見えました。子どもは1年生から6年生までたくさんの参加、地域のキャンプのよう到着した頃は校庭でスイカ割りをしていました。はじめに、今日の星空、外が晴れているので今月の星空の使い方と夏の星座(第三角、サソリ)だけを説明し、外に出てもらいました。雲の切れ間から月が出てきたので望遠鏡4台で観てもらいました。その後体育館に戻り、星座物語「オリオンとサソリ」を楽しんでもらい時間になったので終了。子どもの人数が多く、時間もないので参加賞の天文シールを後から渡してもらうことにしました。外に出ると、西の空も星が見え土星も見れたので、泊らないで帰る家族に土星を観てもらって終了。地区の方から、お菓子とスイカ2玉頂きました。ありがとうございました。乗組員は片づけとお菓子を頂きながら反省会(?)。話題は化石を取りに行きたいね、…でした(笑)。

[青葉城址観望会\(七夕ナイト\) 8月7日\(水\) 19:00~](#)

[20:00](#) (うちゅうせん5名、参加者500名) 晴天

仙台観光のナイトスポット青葉城址で七夕期間中「七夕ナイト」が開催され、「星と伊達武将隊の共演」に参加しました。

雨天・曇天時は不参加と言う事でのスタートでしたが、湿度は高かったものの、昨日までとは打って変わったお天気に恵まれ大勢のお客さんに「土星」を楽しんで貰う事が出来たのはなによりでした。

宮城・仙台ディストネーションキャンペーンの一環で4月以降毎週土曜日の夜に青葉城址で伊達武将隊が中心になり、観光客のおもてなしをしていたそうで・・・普段のお客さんは200人くらいだったのですが、今夜は武将隊サミットと言う事で、伊達武将隊の他に、埼玉県行田市、米沢市、白石市の武将隊??が参集した影響もあり、主催者発表の参加者数が何と500人。それはもう物凄い人数でした。

各地区から参加の演舞が終わり、最後の伊達武将隊の演武までの30分くらいの中で、うちゅうせんメンバーの5台の望遠鏡が大活躍、各望遠鏡は長蛇の列となりました。

初めて土星を見るお客さんが圧倒的多数・と言う事もあり、アチコチから感嘆の声が聞こえていました。特筆は「これ本物ですか?」「何か貼っているんでしょう?」と言った声はかなり聞こえていた事でした。湿気はあったものの、スィーイングが良かったためくっきり・はっきりの土星が見られた証でもあります。

[大倉ふるさとセンター観望会 8月17日\(土\) 18:45](#)

[~20:00](#) (うちゅうせん4名、参加者17+α名) 晴天

反射、屈折、双眼とそれぞれの望遠鏡4台でまずは月齢10過ぎの美しい月をご堪能いただきました。

その後、いったん館内にて今月の星空、星座物語(鎖につながれたお姫様)を約20分程度行い、夏や秋の星座の知識を学習したあとに屋外で天頂のベガ&アルタイルがかるうじて見える状況でしたが、次第に変化する月を中心に観望頂きました。

となりのキャンプサイトで100名ほど家族連れ中心に宿泊していたようなので、センター棟近くを行き来しながら望遠鏡をのぞきにくる親子も多く見られました(20名?)うす雲広がる天気ながらも、雲に見え隠れする月面の模様を皆さん楽しまれました。

[亙理図書館観望会 8月25日\(日\) 18:30~21:00](#) (う

ちゅうせん5名、参加者18名) 曇天

自己紹介のあと、今月の星空説明・スピカ食の写真説明・星座物語:オリオンとサソリと続き、室外に出るチャンスを伺っていたものの、外で望遠鏡を設置し待機していたものの無理との判断から、北極圏で見たオーロラの話のスライドを見ながら進め、それが終わってから外に出て星を!それが見えなかったら景色などを見て貰う事としました。

外に出る前に、誕生星座の話や太陽と地球の関係と星座が季節ごとに変わる理由を、参加者にも参加して貰って説明したところ、何人かから「よく解って勉強になりました」と喜ばれました。

終了後外へ出ると天頂付近の雲が薄くなり、時折、夏の大三角が全部見えたりもしました。

アルビレオや、昇って来た満月3日後の雲間の月なども見え出したことから、参加者の一部の方は帰ろうとせず職員の方に促されて解散となった時は21時をチョット回っていました。

[川崎町小学校\(5年\)・蔵王自然の家観望会 9月10日](#)

[\(火\) 19:30~20:30](#) (うちゅうせん5名) 雨天

初めに、今月の星空、次に・星座物語「星になったインディアン」、地球と衛星や月の関係の説明、アイソン彗星について、最後に「鎖につながれたお姫様」とプログラムを進めてきました。残り5分で質問コーナーになりました。去年は少し晴れて、星を眺めることができましたが、今回は残念でした。来年はお呼びがかかるでしょうか?

[矢本西小学校観望会9月20日\(金\)18:30~19:30](#)

(うちゅうせん4名、参加者親子80名) 晴天

沈みゆく低空の土星を見て貰うべく、体育館で挨拶と今夜の流れを説明の後、すぐに室外に出て貰って全員で土星を・・・かなりの低空と言う事で、くっきりハッキリとは行きません、環の確認が出来たのは何人位だったか?チョット心配です。

その後、体育館に戻って貰い、昨日の中秋の名月と満月についてや、月に関する話を6年生に質問しながら聞いて貰いました。その後の星座物語は「オリオンとサソリ」熱心に聞いてくれました。

終了時間の残り12分のところで、参加賞として6年生には天文シール、ご父兄には天体写真を選んで貰ってから再び外へ出て、4台の望遠鏡で十六夜の月を楽しんで貰い、その後自由解散としました。

80人に対し4台の望遠鏡では不足だった点、反省です。晴天の1時間は望遠鏡準備に忙し過ぎでした。

[青葉中央市民センター「サイエンス☆フェスティバル」](#)

[10月12日\(土\) 10:00~14:30 \(うちゅうせん3名\)](#)曇天

昨年から参加している日中のイベントで、中・高生と大学の科学クラブなどが参加して毎年この時期に実施されているものです。

うちゅうせんとしては、星座物語や天文に関するスライドなどと併せて太陽を見て貰う事での参加でしたが、望遠鏡を設置する時に黒点がチラッと見られただけ・後は終了までその姿を見せる事はありませんでした。何人か参加者が入室する都度、星座物語・オーロラの映像を映したり、アイソン彗星の話などをしました。

昨年より来場者が少ない感じがしましたが、楽天のデーゲームやよさこい踊りのイベントが有ったせいかな・・・とは主催者側の弁でした。

[水の森児童館・市民センター観望会 10月12日\(土\)](#)

[16:45~18:00 \(うちゅうせん2名、参加者50名\)](#)曇天

「星空コンサート&オーロラと月のお話」のイベントの第2部で児童館の遊戯室?に場所を移しての実施でしたが、幼稚園から小学低学年の子供達とお母さん方に、星座物語「オリオンとサソリ」、オーロラの動画を流しながら簡単に説明で終了。

室内が終わる頃に曇り空がだんだん青空に変わって来ました・と言う事で急いで玄関前に望遠鏡を設置し、帰り際に綺麗な上弦の月を見て貰い、子供達にもお母さん方にも好評でした。お客さんが引けてからしばし職員さん方に楽しんでもらう頃には少しあった曇りもすっかり晴れ渡りましたが、風が強くなり、その風が冷たい風になった事で半袖の身には応えました。

[水の森キャンプ場観望会10月13日\(日\) 18:00~](#)

[19:30 \(うちゅうせん4名、参加者親子 20名\)](#)晴天

参加者は殆どが子供連れの家族が大半でいつもに比べ大人数で、椅子の追加をする状況でした。

最初に星座物語「オリオンとさそり」をして貰いましたが、小さいお子さんも静かに見聞きしていました。その後、北極圏のオーロラの話と動画を堪能して貰い、アイソン彗星の紹介説明をしてから室外に。あらかじめ設置しておいた2台の望遠鏡で上弦翌日の月やアルビレオを楽しんで貰いましたが、皆さんは終了の19:30を過ぎても何回も何回も望遠鏡を覗いて帰る気配なし(笑)。主催者側に時間ですからと促されての散会となりました。

参加賞は何時もの通り、お子さんには「天体シート」ご父兄の皆さんには「オーロラの写真」をお持ち帰り頂きました。晴れた星空が今夜の主役だった事は誰もが認めるところでした。

<シリーズ> [えぼしスキー場観望会](#)

[10月13日\(日\) 19:00~20:40](#) 晴天

19時開始でしたが、珍しく(笑)天候が良さそうなので、18時50分に簡単に見える星座や展望台で観てもらおう星を簡単に説明して、19時にはゴンドラに乗り込みました。60名参加なので片道移動に30分ぐらいかかってしまいますので。

展望台では、上がった人から望遠鏡で月を見てもらい、全員上がったところで、夏の星座やカシオペア座、ペガサス座などを説明して星空を楽しんでもらいました。月明かりがあったので、天の川が少し見えにくかったです。その後、アルビレオを観てもらいました。展望テラスでは、月がいいのですが、アルビレオなどは振動がもろに影響してしまうので、展望台前の土の上で中村さんが望遠鏡を設置して観てもらいました。夜景や星空を観て、寒くなってきたので、そろそろ終わりにかと思った頃に昴が東の空に見えてきたので、昴を望遠鏡と双眼鏡で楽しんでもらって、ゴンドラで下山しました。

下に降りてから、うちゅうせんの紹介をして(いつもと逆ですが...)、これから見られる流星群やアイソン彗星の予告をして、終了しました。連休中なのでお子さんも10名ぐらい参加していたので記念に天体シート、大人の方には写真を参加記念にお持ち帰りいただきました。

今回は、今シーズン一番の見え方でした(えぼし観望会で)。60人の人数にどうしようねと思いつつ何とか観てもらえてよかったです。

(他のえぼし観望会実施日: 8/10、9/28)



※えぼしスキー場の観望会、10月26日(土)は中止となり、計画9回で、3回観望会実施・6回中止となりました。台風の影響も受けて中止が多かったような。3回の観望会で、2回は50人以上の参加者がみられました。リピーターの方もみられ、観望会としては定着してきたように思います。

今年は、大根の時期に観望会がなく寂しいような。昨年まで、船長と大根を買って帰ったことを思い出しました。

☆星の雑談箱

<星の见えない夜長に・・・天地明察はいかか?>

徳川家に仕える碁打ちの安井算哲は天体観測を続け、800年間使われてきた中国暦のズレを発見し、正しい暦を完成させるため命がけで奮闘する姿を描く歴史小説。

当時は暦の制定権限は朝廷にあるため、改暦の提案には朝廷の大きな反発があり民衆への公開勝負に踏み切ることとなった。

それは日食や月食の日を当てる勝負で順調に進んでいたが最後にはずしてしまう。暦にはわずかな誤りも許されないためこの挫折を乗り越え日本初の暦を完成させていく。

この中で碁盤は天体、白黒の碁石は昼夜を表す事や、算術による解析など当時の天文学についての要素が散りばめられた内容となっており一見の価値があります。見た方も、まだ見てない方も、DVDレンタルなどでもう一度見直す価値がある作品です。公開から1年、秋の夜長の星が見えない日にいかがでしょうか。…発行時期が遅れ冬の夜長になってしまいました。



★ ボランティアの雑談箱

(うちゅうせんが・・・ペガサスの四辺形に!)

4月の例会で仙台市天文台の「スタッフサポーター」の団体の部に登録されました。先日、天文台正面入口横に、天文ボランティアうちゅうせんがペガサス座β星になっているのを発見!しました。

今までは天文台以外での活動でしたがこれからは天文台でも輝いていきたいですね。



編集後記

♣ 8月13日未明3時から4時まで自宅ベランダにてペルセウス座流星群を見ました。北側は町明かりや街頭で見えないので南の林側で1時間に10個程度見ることができました。かなり明るいものもありましたが、日中の暑さや湿度のためか透明度も今一つで町明かりが空に反映し明るく、見えにくかったです。飛行機や人工衛星がけっこう飛んでいたのが印象的でした。今回は初めてのためまた、布団に戻りましたが次回は山などへ出かけて寝転がってみたいです。(辺)

◆ 11月上旬に発生した台風30号(フィリピン名 Yolanda)は、フィリピンの島々に上陸して、大震災に匹敵するほどの多大な被害を出しました。台風によって生じる高潮が地震による津波に負けないほどの破壊力を持つ事がある、とニュースの映像を見て改めて実感しました。このような台風は将来自分自身に振りかかる事も有り得ると言えます。台風の災害対策を考え直すきっかけとなりました。(今)

♠ えぼしやスプリングバレーの観望会は、晴れると最高に楽しいですね。光害が少なく、天の川もみられて、参加した方も満足しているみたいです。山岳道路も冬季閉鎖の時期を迎えました。アイソン彗星は、どのくらい明るくなるのでしょうか。楽しみにしています。(石)

♣ 期待はずれの「哀損彗星」などといわれながら、急に増光し、大彗星かと思っていた矢先に崩壊!あまりに劇的なドラマでありました。寒さも一層増しますが、早起き観望が楽しみな季節ですね。(辺2)

♥ 今年の11月から来年の1月にかけて一大天文ショーとなるはずだったアイソン彗星。しかし、日本時間11/29早朝太陽に再接近(近日点通過)の際、彗星の核となる構造は崩壊・蒸発・ちりとなりました。「マスコミが騒ぐと天文現象ははずれる」というジンクスがあるらしく、1972年のジャコビニ流星群や1974年のコホーテク彗星などが典型的ですが、1976年のウエスト彗星や1996年の百武彗星などのように“騒がれずに”大彗星になった例もあるそうです。そうだ、春のパンスターズ彗星も観てない! (伊) 後記は日付が早いものから順に記載しており、発行時期が当初11月のため、アイソン彗星の期待と残念双方のコメント併記をご了承願います。(広報係)